

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

多気町教育委員会
多気町松阪市学校組合教育委員会

令和6年4月18日に、中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果の概要について、以下の通りまとめました。
結果の公表については、保護者・地域の皆様に学校教育と家庭教育についてのご理解・ご協力を得ることが何よりも大切であると考え、教科に関する結果、学力の背景となっている生徒質問調査から見られた生徒の好ましい傾向と教育課題、そして今後の取組についてお示しさせていただきます。

教科に関する調査結果の概要

教科に関する調査は、中学校では国語・数学の2教科で実施され、多気町立及び多気町松阪市学校組合立中学校第3学年の生徒164人が参加しました。調査結果について、中学校においては、全ての教科において上回る結果となりました。
以下に、調査結果から「おおむね理解している問題」と「課題がみられた問題」についてまとめました。

【中学校 国語】 ◇…比較的できている点 ◆…課題のある点 []内の記号は、問題番号



- ◇行書の特徴を理解していることができている。
- ◆文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がある。

<おおむね理解している問題>

- ◇物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する問題 [3一] (正答率：約9割)
- ◇行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する問題 [4三] (正答率：約9割)

<課題がみられた問題>

- ◆話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する問題 [1三] (正答率：約4割)
- ◆本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する問題 [2一] (正答率：約3割)

大問2一 「図 さまざまな形の葉」の本文中での役割を説明したものを、1から4までの選択肢の中から二つ選ぶ。

正答率：32.9%

課題がみられた問題



- 1 実際の葉の形をたくさん思い浮かべることができるように補助する役割
- 2 実際の葉の形とそれを表す言葉とを結び付けて捉えられるようにする役割
- 3 葉の形を表す言葉を二つのグループに分けるやり方が複数あることを示す役割
- 4 葉の形を表す言葉の中では厚み方向の形容が限定的であることの根拠を示す役割

誤答例の分析と課題

正答例	1, 2両方を解答しているもの	
正答率		32.9%
誤答例	① 1と解答しているが、2と解答していないもの	36.0%
	② 2と解答しているが、1と解答していないもの	21.7%

誤答例①のように解答している生徒は、図と第1段落とを結び付けて読むことで、読み手が実際の葉の形をたくさん思い浮かべることができるよう、補助する役割をもつことをとらえることはできていますが、第2段落で著者が例示している「様々な形容」と結び付けて読むことで、実際にどのような形なのかを、読み手が具体的に捉えることができるようにする役割を持つことを捉えることができているものと考えられます。

「R6 全国学力学習状況調査
中学校国語」より

<今後の学習の手立て> 「図表や写真などを用いた筆者の意図をしっかりと捉える学習の機会を大切に」

図表や写真などを含む説明的な文章を読む際には、示されている図表などが、文章のどの部分と関連しているのかを確認するなどして、書き手の伝えたい内容をより正確に読み取ることが重要です。図表がある場合とない場合を比較し、考えたことを説明し合うなど、筆者が図表などを用いた意図をしっかりと捉えることができるように指導していきます。



◇問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができている。
◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

＜おおむね理解している問題＞

- ◇正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める問題 [6 (1)] (正答率：約9割)
- ◇結衣さんがかいたグラフから、18Lの灯油を使い切るような「強」と「弱」のストーブの設定の組み合わせとその使用時間を書く問題 [8 (3)] (正答率：約8割)

＜課題がみられた問題＞

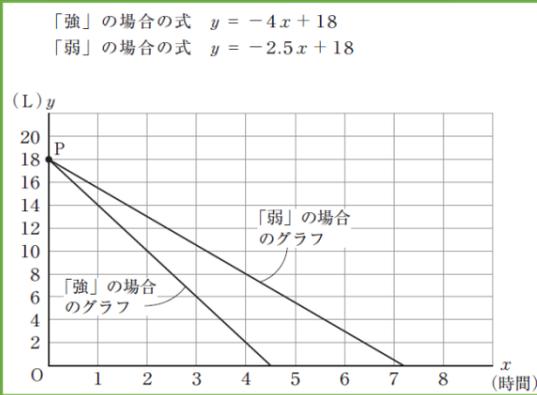
- ◆18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する問題 [8 (2)] (正答率：約1割)
- ◆点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、∠AQCと∠BPCの大きさについていえることの説明として正しいものを選ぶ問題 [9 (2)] (正答率：約2割)

課題がみられた問題

大問8 (2)

18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフどちらかを用いて説明する
ア・・・「強」の場合の式 $y = -4x + 18$ と「弱」の場合の式 $y = -2.5x + 18$
イ・・・「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフ

【ストーブの使用時間と灯油の残量】



誤答例の分析と課題

正答率：14.6%

	ア (式を用いる場合)	イ (グラフを用いる場合)
正答例	「強」の場合の式と「弱」の場合の式について、それぞれの式に $y = 0$ を代入し、 x の値の差を求める。 【正答の条件】 (a) 「強」の場合の式と「弱」の場合の式に $y = 0$ を代入すること (b) 上記 (a) に対応する x の値の差を求めること 上記 (a) (b) について記述しているもの	「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフについて、 y の値が0のときの x の値の差を求める。 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフについて、 y の値が0のときの2点間の距離を読み取る。 【正答の条件】 (c) 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフの y の値が0である点に着目すること (d) 上記 (c) に対応する x の値の差を求めること (e) 上記 (c) に対応する2点間の距離を読み取ること 上記 (c) (d) または (c) (e) について記述しているもの
誤答例	2つの式に0を代入して、 x の値を求める。 2つの式から x の値の差を求める。 2つの式を使って考える。	2つのグラフの y の値が0の時を求める。 2つのグラフの x の値の差を求める。

○誤答例の解説

試行の過程を的確に表現したり、考えたことを数学的な表現を用いて説明したりすることに課題があると考えられます。

「R6全国学力学習状況調査 中学校数学」より

＜今後の学習の手立て＞ 「表、式、グラフなど数学的な表現を使って説明する学習の機会を大切に」

表、式、グラフなどを用いて問題解決する場面を設定し、それらの使い方について数学的に説明することが重要です。また、解決の方法として表現が不十分な説明を取り上げて、問題解決の見通しを共有した場面などを振り返りながら、十分な説明ができる学習の機会を大切にしていきます。

生徒質問調査からみられた子どもの姿

自分には
よいところがある

85.9%

(全国 83.3%)

人が困っている時
進んで助けている

94.0%

(全国 90.1%)

人の役に立つ
人間になりたい

96.9%

(全国 95.2%)

学校に行くのは
楽しい

87.1%

(全国 83.8%)

地域や社会をよくするために
何かしてみたい

85.9%

(全国 76.1%)

※子どもたちが生徒質問紙で肯定的に回答した割合が高かった主な設問より

今年度の調査においても、学習習慣・生活習慣ともに肯定的に回答する生徒が多いという結果でした。上記の項目からも多くの子どもたちが安心できる環境の中で学校生活を送っていることがうかがえますし、地域の行事に参加するだけでなく地域のために何かできることはないかを考えている頼もしい姿があることもわかります。日々あたたかく見守り、しっかり支えていただける保護者と地域の方々の力の大きさは本町の強みの一つです。生徒一人ひとりが「自分のことを好きになること・自分に自信を持つこと」は学力向上を支える大きなポイントです。今後も家庭・地域の協力のもと、すべての子どもたちが「学ぶ喜び」「わかる楽しさ」を実感できるよう、本調査の結果を学校の職員全体で共有し、個々の教師が授業の工夫・改善へ、活かしていけるよう取り組みを進めていきます。